

江別市子どもが主役のまち宣言（素案）

未来を担う子どもたちは、江別の宝です。

すべての子どもがいつも笑顔でいられ、自分らしく、健やかに成長できる社会の実現は、江別市民すべての願いです。

子どもは、友達や家族と、遊んだり、食べたり、あるいはゆっくり眠ったりすることを欲しています。また、みんなに褒められたり、認められたり、家族に抱きしめられたりすることで、自分自身の存在を安心して受け入れる気持ちになります。

子ども自身が自分の気持ちや声、自分そのものを大切にし、大切にされる感覚を日常的に体験することには大きな意味があり、子どもが個性を発揮し、自信をもって自らの未来を切り開いていく力の源となります。

江別の宝である子どもたちが、かけがえのない大切な存在として、笑顔で健やかに成長するまちをめざして、ここに「子どもが主役のまちえべつ」を宣言します。

- ー 子ども一人ひとりが権利の主体であることを大切にし、その人格や個性を尊重します。
- ー 子ども自身が自らの力で心身共に成長し、未来に希望を持って今を生きることができるようまちづくりに取り組みます。
- ー 誰もが、安心して子どもを産み、育てることができる環境づくりを進めます。
- ー 家庭や学校だけでなく、地域社会全体で、子どもの健やかな成長を支え、応援します。

【解 説】

前文では、子どもがいつも笑顔で、健やかに成長できるまちを目指すことを改めて明確にしています。

また、子どもへのアンケートでたくさんの意見が寄せられた、「友達」や「家族」と一緒に、「遊び」、「食べ」、あるいは「眠る」ことを子どもの願望として明示したほか、みんなに「褒められる」ことや、家族に「抱きしめられる」ことなどを望む回答も多くあったことから、自己肯定感や、子ども自身が持つ育つ力を大切にする考えも示しています。

続く4つの項目では、子どもが健やかに育つまちを目指すために必要な基本姿勢を掲げています。

1つ目は、子どもの権利条約を踏まえ、子ども一人ひとりを権利の主体として尊重していくこと。

2つ目は、子ども自身が育つ力を持っていることを大切にしながら、その育ちを支援していくこと。

3つ目は、家庭が安心して子育てしていけるよう環境の整備を進めること。

4つ目は、子どもの養育に直接携わる家庭や学校だけでなく、関係機関や地域住民など地域ぐるみで子どもの成長を支えていくこと。

今後、江別市が「子どもの笑顔があふれるまち」を目指していくに当たっては、常にこの4つの観点を基本姿勢としながら、子ども関連の施策を進めていくこととなります。